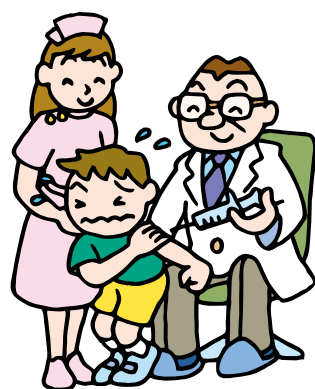


健康情報

千葉県医師会
健康教育委員会



Hibワクチン 接種のすすめ

子どもたちを細菌性髄膜炎から

守りましょう！

委員 山本 重則 医師

細菌性髄膜炎の原因菌とは？

乳幼児は細菌への抵抗力がまだ十分ではないため、時に細菌が脳や脊髄をとりまく体液にまで侵入し強い炎症を起こすことがあります。この細菌性髄膜炎という感染症は、子どもがかかると病気のなかでもっとも重いものの1つであり、命を失ったり重篤な後遺症をのこしたりするところが少なくありません。細菌性髄膜炎を起こす細菌はさまざまですが、最も多い原因菌は「Hib※（ヒブ）」です。

千葉県の調査では細菌性髄膜炎の原因菌の90%がHibということがわかっています。Hibは急性喉頭蓋炎という、のどが腫れて呼吸ができなくなる感染症の主な原因菌でもあります。

髄膜炎の症状は？

髄膜炎を起こしたときは、発熱、頭痛、嘔吐、意識障害、ケイレンなどが起こります。しかし、早期には発熱以外特別な症状がみられないことも多く、風邪などと見分けにくいいため、現在の医学では早期診断が大変難しいことがわかっています。

どうすれば予防できるの？

Hibワクチンを接種することをお勧めします。この恐ろしいHibに対しては20年以上前よりアメリカをはじめ94か国以上でワクチン接種が開始され、細菌性髄膜炎や急性喉頭蓋炎にかかる子どもが激減しています。2008年12月より、このワクチンがようやく日本でも接種することができるようになりました。

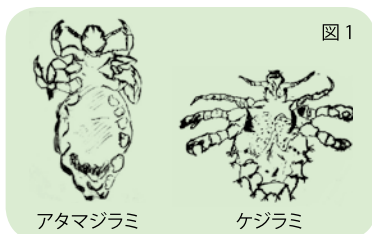
予防接種について

接種時期は生後2か月より4～8週間の間隔で（医師の判断により3週間の間隔でも可能です）3回接種し、1年後に追加接種します。三種（ジフテリア・百日咳・破傷風）混合ワクチンとほぼ同じスケジュールですので、接種部位をかえて同日に接種することが可能です。1歳～5歳未満のお子さんではじめて接種をご希望される場合は、1回のみの接種となります。主な副反応は注射部位の発赤やはれなどで、ほとんどの場合は軽くすみます。このワクチンは、まだ任意接種であるため有料です。比較的高価ですので、自治体からの助成や定期接種化が待ち望まれています。

※ Hibとは「ヘモフィルス・インフルエンザ菌b型」のイニシャルをとって「Hib」と呼ばれるようになりました。

虱について

委員 児島 孝行 医師



ヒトジラミには、アタマジラミ、コロモジラミ、ケジラミがあり、いずれも吸血します。アタマジラミは頭髪に寄生します。コロモジラミはホームレスや未開発地域などの特殊な環境でしかみられません。ケジラミは主に陰毛に寄生し、性行為で伝染するため性感染症に分類されます。また形もアタマジラミより小さく蟹に似た形をしています(図1)。

そこで、ここでは最近小児、児童に増加しているアタマジラミを中心に説明します。アタマジラミは保健所に寄せられた報告によると1980年代に比べて近年は10倍以上に増えていきます。その理由として海外から持ち込まれる、シラミを知らない親が増えている、強力な殺虫剤が使えないなどが考えられます。

虱が心配だったり、卵ではないかと思つたら念のため、皮膚科専門医を受診しましょう。

(診断)

卵…白色の微小な卵が頭髪に固着しています。

一見フケと見分けにくいのが拡大すると卵型をしており、フケのように簡単に剥がれません(図2・3)。

成虫…体長2～3mmで灰白色、吸血すると赤褐色になります。

感染機会があつてから1ヶ月後にかゆみと卵で気付くことが多く、卵から成虫まで13～16日、成虫は20日あまり生きます。

(治療)

スミスリン(フェノリン) パウダー、スミスリンシャンプーの使用。

パウダーは頭髪には1回約7g、陰毛には約2gを振り掛け、櫛などで満遍なく散布しシャワーキャップ等で覆い、1時間待った後で洗い流します。一日1回、3日に一度、3～4回繰り返します。シャンプーは1回10～20mlを頭髪全体に行きわたらせ、5分間待って洗い流します。なおいづれも卵を殺す力はありませんので繰り返し使用することが必要になります。また毛幹に固着した卵は抜け殻になっても容易に取れないので梳き櫛で抜き取るか、鋏で切り取ります(図4)。

髪を短く切ったり、剃毛することは治療を早めます。頭周りのタオル、シーツ類はアイロンをかけるか熱湯消毒すると効果的です。室内の消毒の必要はありません。オイラックス軟膏、抗ヒスタミン薬を使うことも効果的です。

近年小児、学童に増えていますが、潜伏期もあり1人を出席停止にしても意味が無いので登校停止は必要ありません。プールでうつることはまずありません。ロッカーやタオルの共用は避けましょう。感染集団は一斉に治療する必要があります。不潔さとは関係ありませんので、虱だからといって子供の心を傷つけない配慮が必要です。



「健康ひろば千葉」千葉県医師会・健康教育委員会
<http://www.chiba.med.or.jp/kenko/>
 携帯サイト
<http://www.chiba.med.or.jp/kenko/i/>



千葉県内医療施設検索サイトのご紹介
 医療施設検索サイトは、右のQRコードからブックマーク登録出来ます。ぜひご利用ください。
<http://www.chiba.med.or.jp/medicaldb/visitorj/>

